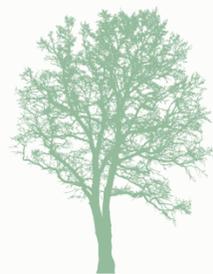


ICHIBA project



# 放課後の子どもたちの居場所づくり 「放課後子どもひろば」



# プロフィール

---

## ICHIBA project

### 北原 愛沙

KITAHARA AISA

松川町の新井北部にある「いちばの森」を拠点に  
ICHIBA Project（イチバプロジェクト）として  
活動しております。地元の子どもや親子を対象とした  
自然体験や、交流事業を実施をしています。  
松川町主催のあそびの楽校のスタッフとして、  
8年間子どもたちの自然教育に関わる。  
3児（小5・5歳・3歳）の母です。



# 目次

---

01

団体概要

02

事業内容・事業概要・事業目的

03

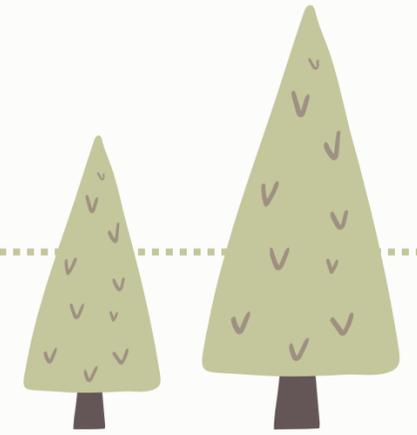
活動の様子と成果

04

決算について

05

来年度の取り組み



### 1. 基本情報

- ▶ 団体名 ICHIBA project
- ▶ 設立年月日 令和3年4月1日
- ▶ 代表者氏名 北原太志郎
- ▶ 運営スタッフ 3名（代表、副代表、会計）
- ▶ 所在地 長野県下伊那郡松川町元大島 1773

### 2. 目的

350年の歴史ある古民家「いちば」が有する歴史的資源および自然資源を、子どもたちや若者に活用してもらう各種事業を展開することで、先人たちへの尊敬や自然への感謝の想いを抱き、自らの手で未来を創る世代を育むことを目的とする。

### 3. 主な事業内容

- ▶ 「放課後子どもひろば」の企画運営〔松川町教育委員会後援〕
- ▶ 「田んぼの楽校」の企画運営〔松川町教育委員会主催あそびの楽校まつかわの1プログラム〕
- ▶ 教育旅行にかかる農家民泊の受け入れ〔(株)南信州観光公社主催〕
- ▶ キャンプや各種イベントの企画運営〔自主事業〕

## 《放課後子どもひろば》

「松川町の子どもたちが、放課後も外で元気に遊べる環境を」という思いから2023年に始動しました。

カリキュラムに縛られない「自由な時間」と「豊かな自然」を提供し、子どもたちが自ら「楽しい」を見つけ出す力を育む居場所づくりを行っています。

また、地域の大人や異年齢の子どもとの関わりの場としても機能しています。

- ▶対象 松川町在住の児童・未就学児・中学生
- ▶開催日 4月～3月の学校の授業日のうち、月・水曜日 約64回  
1月・2月はお休み
- ▶受入時間 授業終了後から17時まで（初冬は16時30分まで）
- ▶実施場所 いちばの森（松川町元大島1773）
- ▶利用料 年間10,000円（保険代・運営費）※公益財団法人スポーツ安全協会 スポーツ安全保険
- ▶内容 森や野原をフィールドとして、自分たちで遊びを見つけ自由に過ごす。
- ▶スタッフ 自然のまなびや もりのわ（あそびの楽校まつかわ 運営事務局）
- ▶長期休暇 下記日程の10:00-15:00にて開催。計3回  
夏休み2回 春休み1回
- ▶送迎 授業終了後、徒歩にて各々で実施場所に集合。  
活動終了後、保護者が実施場所に迎えに来る。
- ▶参加人数 計35名

## 自分

自分のペースで思いっきり「やってみたい」を実現し、自由に遊べる経験をする中で、子どもたちの自主性、冒険心、探究心を育む。

## 自然

自然を素材に興味関心を持った事をじっくりと感じ取り入れる時間を大切にすること。何も無い自然の中から遊びを生み出すことで、創造性や生きる力を育む。

## 仲間

異年齢との繋がり。遊びをつくる過程を通して、社会性や協働性を育む。また地域住民との繋がりも育む。

## 健やかさ

外で思いっきり走ったり、遊んだりすることで、身体を沢山使い、自然の中で五感を養うことで、健やかさを育む。

03

## 活動の様子

川あそびに森あそび、泥あそびやボールあそびも  
思いっきり満喫しています！！



## 竹で流しそうめん



03

## 活動の様子

### 外部講師の方々

#### カップインワン



#### 森カフェ



#### お出汁を飲もう



## 対象者を未就学児や中学生まで拡大

今年度の取り組みとして、未就学児の親子と中学生まで対象者を広げました。  
結果としては、松川町内の未就学児の親子の参加者が増えました。

子ども 7人 (5組)

主に参加している小学生の兄妹とその繋がりのある親子です。

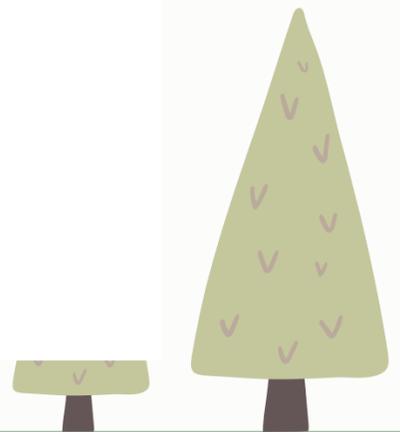
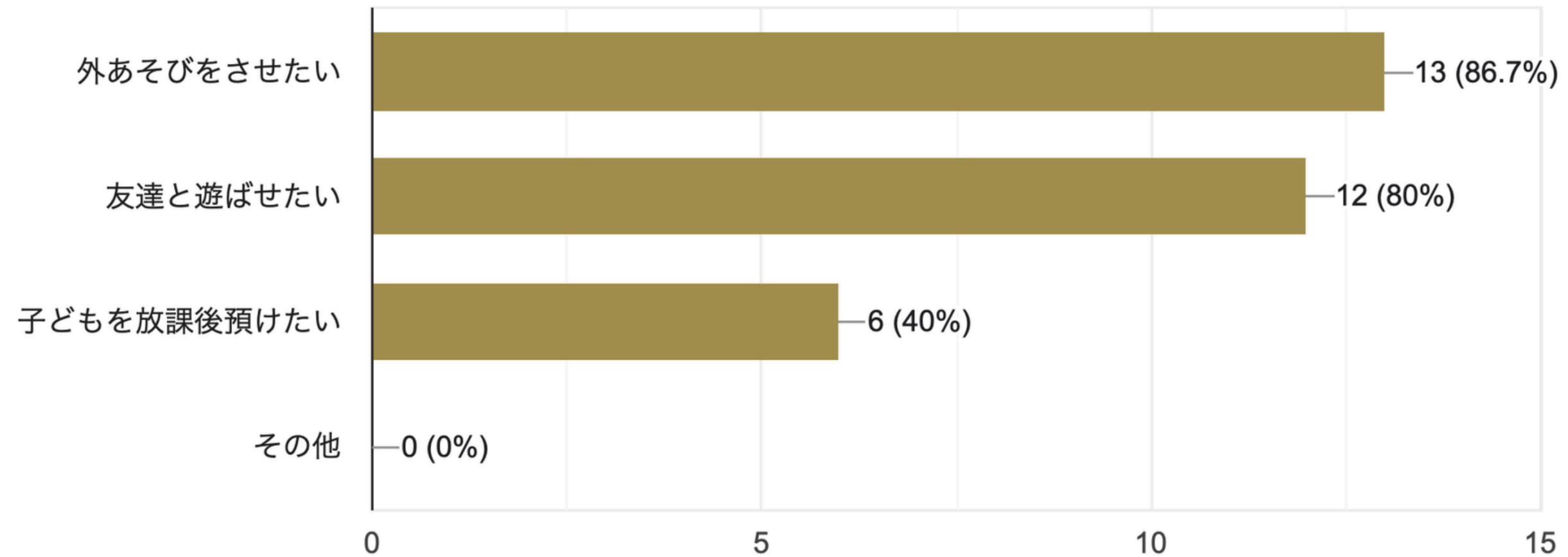
## 参加のべ人数

2024年度	小学生(1084人)	未就学児(245人)	保護者(259人)	合計1588人
2025年度	小学生(1284人)	未就学児(354人)	保護者(277人)	合計2000人(見込)



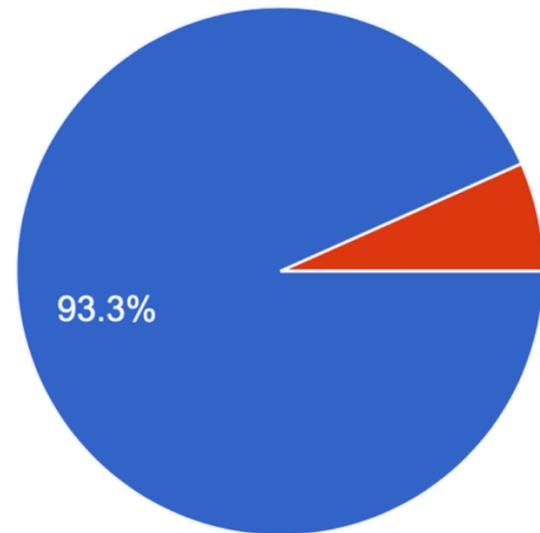
放課後子どもひろばに参加させた目的は何ですか？※複数回答可

15件の回答



放課後子どもひろばに参加させてどうでしたか？

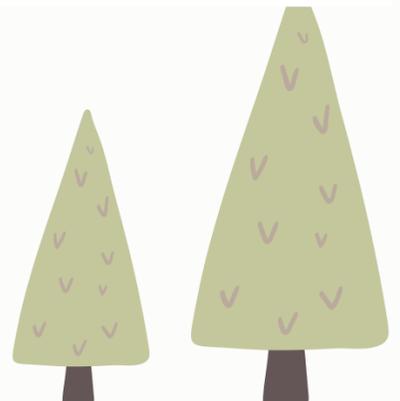
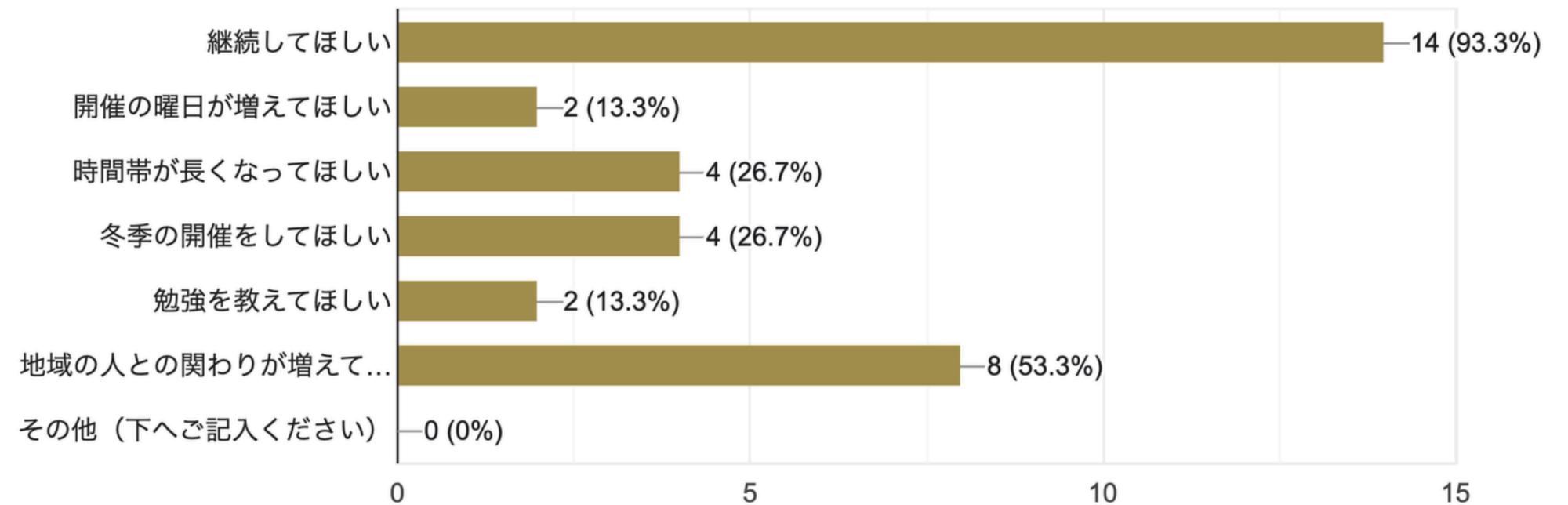
15件の回答



- 満足
- ほぼ満足している
- 普通
- 不満足

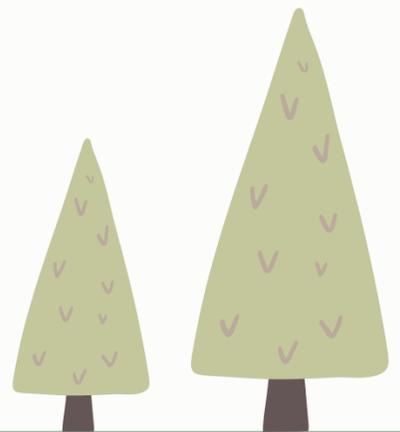
今後子どもひろばが、どのように広がっていくと良いですか？※複数回答可

15件の回答



## 感想

- 家にいるとゲームや携帯ばかりで遊んでしまうので、外で友だちと遊べる場所があるのがとてもありがたい。
- 普段なかなかできない遊びや体験をさせてもらえてとても良かった。
- 思いっきり外遊びが出来たり、家庭では体験させてあげられないことができ、子どもも楽しめて親もとても嬉しい。
- 親としては安全に見守りがあり自然の中でのびのび遊べる場所をつくってもらえとても有難い。
- 子ども達は自由な時間を過ごせありがたいばかり。
- 学年問わず友達ができた。
- 他学年にもお友達ができ、交流出来ることが楽しそう。
- 森あそびの後は家の中でも工夫して遊んでいるのでありがたい。
- 行ってない時より体力が上がった。



## 事業効果

本年度は対象を未就学児や中学生にも広げたことで、さまざまな年齢や個性をもつ子どもたちが関わり合いながら遊ぶ機会が生まれた。異年齢で過ごす中で、縦の繋がりが自然に育まれ、社会性を育む場となった。

また、未就学児の親子が参加することで関わる大人の人数も増え、より多くの大人の目で子どもたちを見守れる環境が生まれた。

子どもたちは多様な大人と関わりながら遊ぶことができている。

さらに、大人同士の何気ない会話や交流も生まれ、「誰かが子どもを見てくれている」という安心感の中で、人とつながり合って子育てができる場にもなってる。



## 中学生について

高学年になった参加者が今後も子どもひろばに参加できるように中学生まで枠を広げました。

今年度は参加者がいませんでした。

来年度は中学生のボランティア活動のニコボラや別の形での関わりを模索したいと思います。



(別紙)

事業収支決算書  
(3/6 現在見込み)

収入の部

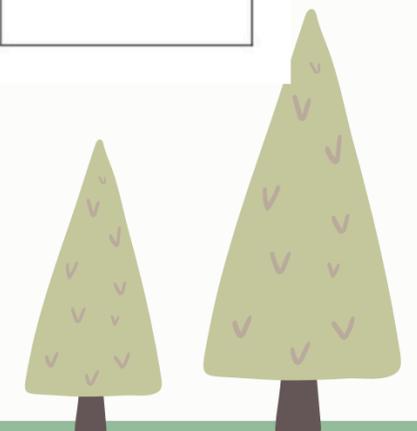
(単位：円)

項目	内容	予算額	決算額	備考
事業補助金額	町民提案型まちづくり事業	300,000	300,000	
事業による収入	参加費	259,400	267,500	
自己資金		213,980	97,276	
合計		773,380	664,776	

支出の部

(単位：円)

項目	内容	予算額	決算額	備考
講師謝礼	65回分	690,000	585,000	外部講師5回
消耗品費	ロープ、布、紙、補食など	35,000	35,396	
使用料	公民館使用料	15,000	6,900	
保険代	年間940円	33,380	37,480	スポーツ安全協会への振込手数料含む
合計		773,380	664,776	



## 課題

- 高学年や中学生の参加者が少ない

高学年や中学生になると、成果の見えるやりがいを求める年齢になるため、高学年以上でも楽しめる活動を模索する。

来年度はこの課題に取り組んでいきたいと思います。

(例：森の手入れ、看板の制作、丸太橋の制作など)



## 課題

## ●スタッフ体制について

子育て世代のスタッフ2名を中心に活動しているため、家庭の事情等により参加が難しい場合があります、安定した運営のための代替スタッフの確保が課題となっている。

## ●補食の提供について

物価高騰の影響により、事業費に占める補食費の割合が増加している。今後の運営継続のため、参加費の見直し（値上げ）についても検討していく。



## 松川町をもっとよくしていきたい

子どもたちにとっても、大人たちにとっても、  
人々が温かい関係で繋がり、親子で安心して過ごせる場があること、  
それが町を好きになること、自分を好きになること、健やかな心を育むことにつなげていけばと思っています。  
自分たちの住む町がもっともっといい町になっていくように  
意義のある活動にしていきたいです。

ありがとうございました

